



NEC Expressサーバ  
Express5800シリーズ

N8500-584/585/586/587/588/589  
Express5800/120Md

Microsoft Windows 2000 Server/  
Microsoft Windows 2000 Advanced  
Server

インストール・レーションサプリメントガイド

## 商標について

ExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating systemの略称です。

Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。

Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

# はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズサーバをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書では、Express5800シリーズサーバ「Express5800/120Mα(N8500-584/585/586/587/588/589)」に使用するオペレーティングシステム「Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版」、または「Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server 日本語版」をインストールする方法について記述しています。

(Express5800シリーズのセットアップ(OSのインストールを含む)は添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」の「シームレスセットアップ」機能をお使いになることをお勧めします。)

本書での内容は、Windows 2000やWindows NT、Windows 95/98の機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。OSの操作や不明点については、各OSのオンラインヘルプなどを参照してください。

**本書は上記に示すモデル専用の説明書です。添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」の中には他のモデル用の説明書が含まれている場合もあります。本書を参照してインストールをする前に、お使いになっているモデルを確認してください。**

## 本文中の記号について

本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。



ユーティリティや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。



ユーティリティや装置を取り扱う上で確認をしておく必要がある点を示します。



知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

## ソフトウェア使用条件

添付のCD-ROM内のソフトウェアを使用するにあたって、添付のソフトウェアのご使用条件をお読みになり、その内容についてご確認ならびにご承諾ください。

---

## ユーザーサポートについて

ソフトウェアに関する不明点や問い合わせは別冊の「ユーザーズガイド」に記載されている保守サービスセンターへご連絡ください。また、インターネットを使った情報サービスも行っておりますのでご利用ください。

<http://www.express.nec.co.jp/>

『58番街』：製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載！

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールドینگ(株)ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

# 概要

Express5800シリーズの再セットアップをするときは、「シームレスセットアップ」と「マニュアルセットアップ」の2つの方法があります。本書では「マニュアルセットアップ」の手順を説明します。

それぞれのセットアップについて以下に説明します。(Express5800シリーズのセットアップは、「シームレスセットアップ」を使ってセットアップすることをお勧めします。)

## シームレスセットアップ

「シームレスセットアップ」とは、ハードウェアの内部的なパラメータや状態の設定からOS (Windows 2000)、各種ユーティリティのインストールまでを添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」を使って切れ目なく(シームレスで)セットアップできるExpress5800シリーズ独自のセットアップ方法です。

購入時の状態と異なるハードディスクのパーティション設定で使用する場合やOSを再インストールする場合は、シームレスセットアップを使用すると煩雑なセットアップをこの機能が代わって行います。

シームレスセットアップの方法については「ユーザズガイド」で説明しています。

また、再インストールのときに前回使用したセットアップパラメータFDを使用すると、前回と同じ状態にExpressサーバをセットアップすることができます。

「セットアップパラメータFD」は、EXPRESSBUILDERにある「ExpressPicnic®」を使って事前に作成しておくことができます。

事前に「セットアップパラメータFD」を作成しておくこと、シームレスセットアップの間に入力や選択しなければならない項目を省略することができます。(セットアップパラメータFDにあるセットアップ情報は、シームレスセットアップの途中で作成・修正することもできます)。セットアップパラメータFDの作成方法については、「ユーザズガイド」で説明しています。

## マニュアルセットアップ

Windows 2000やディスクドライバ、ネットワークアダプタドライバのインストール、および保守用パーティションの設定や、各種ユーティリティなどをひとつひとつ手作業で行う方法です。

セットアップ後にシステム固有のモジュールを適用するNECアップデートモジュールのインストールを行ってください。

# 注意事項

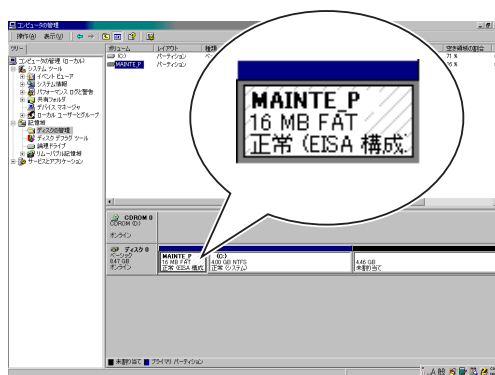
マニュアルセットアップを始める前にここで説明する注意事項をよく読んでください。

## システムのアップデートについて

Express5800のシステム構成を変更したときは、必ずExpress5800に添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」を使って、システムをアップデートしてください。詳しくは、8ページを参照してください。

## ディスク構成について

ディスク領域に、「MAINT\_P」と表示された領域が存在する場合があります。構成情報やユーティリティを保存するための保守用パーティションです。削除しないでください。



## MO装置について

インストール時にMO装置を接続したままファイルシステムをNTFSに設定すると、ファイルシステムが正しく変換されません。MO装置を外してインストールを最初からやり直してください。

## 作成するパーティションサイズについて

システムをインストールするパーティションの必要最小限のサイズは、次の計算式から求めることができます。

$$\begin{aligned} 1000\text{MB} + \text{ページングファイルサイズ} + \text{ダンプファイルサイズ} \\ 1000\text{MB} &= \text{インストールに必要なサイズ} \\ \text{ページングファイルサイズ(推奨)} &= \text{搭載メモリサイズ} \times 1.5 \\ \text{ダンプファイルサイズ} &= \text{搭載メモリサイズ} + 12\text{MB} \end{aligned}$$



- ページングファイルの初期サイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報を採取できない場合があります。
- 搭載メモリサイズが4GB以上で、「Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版」をインストールする場合は、ページングファイルの初期サイズを2060MBに設定することを推奨します。
- 搭載メモリサイズが2GB以上の場合のダンプファイルサイズは、「2048MB+12MB」です。

例えば、搭載メモリサイズが512MBの場合、必要最小限のパーティションサイズは、上記の計算方法から

$$1000\text{MB} + (512\text{MB} \times 1.5) + (512\text{MB} + 12\text{MB}) = 2292\text{MB}$$

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。

ダンプファイルサイズを確保できない場合は、次のように複数のディスクに割り振ることで解決できます。

- (1) インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズを設定する。
- (2) ユーザーズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分)を別のディスクに書き込むように設定する。  
(ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合はインストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズでインストール後、新しいディスクを増設してください。)

## ソフトウェア電源アンインストーラについて

Windows NT 4.0からWindows 2000にアップグレードする場合は、あらかじめソフトウェア電源モジュールをアンインストールする必要があります。

以下に操作手順を示します。

- (1) コマンドプロンプトを開く。
- (2) 「powerdel」と入力してリターンキーを押す。

以下のメッセージが表示されます。

「ソフトウェア電源モジュールはWindows 2000 Upgradeに先だってアンインストールする必要があります。  
ソフトウェア電源モジュールのアンインストールを開始しますか (Y/N)?」

- (3) アンインストールを行う場合は、<Y>キーを押してから、<Enter>キーを押す。

アンインストールが開始されます。

<Y>キー以外を入力するとアンインストールは中断されます。また、ESMPRO/ServerAgentをインストールしていた場合は、以下のメッセージが表示されます。

このシステムではソフトウェア電源モジュールはESMPRO/ServerAgentとファイルを共有しています。ソフトウェア電源モジュールのアンインストールの前に、まずESMPRO/ServerAgentをアンインストールしてください。その後必ずOSを再起動してから再度ソフトウェア電源モジュールのアンインストールを実行してください。

メッセージに従ってESMPRO/ServerAgentをアンインストールして再起動後にソフトウェア電源モジュールをアンインストールしてください。

- (4) アンインストール終了後、システムを再起動する。

# マニュアルセットアップ

マニュアルセットアップでWindows 2000 Server 日本語版、または、Windows 2000 Advanced Server 日本語版をインストールする手順を次に示します。以下、これらのOSをまとめて「Windows 2000」と呼びます。

シームレスセットアップでインストールをする場合は、ユーザーズガイドを参照してください。

## マニュアルセットアップに必要なもの

作業を始める前に次のディスクや説明書を用意します。

EXPRESSBUILDER( CD-ROM )

Microsoft Windows 2000 Server 日本語版(CD-ROM)、またはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版( CD-ROM )

ファーストステップガイド

ユーザーズガイド



# Windows 2000のインストール

次の手順に従ってインストールします。インストールは、「新規インストール」とWindows NT 4.0がインストールされている装置をWindows 2000にする「アップグレードインストール」の2つの方法があります。

## 新規インストール

- 1 システムの電源をONにする。
- 2 ExpressサーバのCD-ROMドライブにWindows 2000 CD-ROMをセットする。
- 3 Windows 2000 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしたら、リセットする(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)か、電源をOFF/ONしてExpressサーバを再起動する。



**重要**

ハードディスク上に起動可能なOSがインストール済の場合は、画面上部に「Press any key to boot from CD...」が表示がされている間に<Enter>キーを押してください。起動可能なOSが存在しない場合は不要です。

CD-ROMからシステムが立ち上がり、Expressサーバが再起動します。

Windows 2000のセットアップ画面が表示されます。画面が表示されなかった場合は、<Enter>キーが正しく押されていません。もう一度システムの電源をONし直してから始めてください。

以降は、メッセージに従って作業を続けてください。

インストールの詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。



**重要**

セットアップの途中で、Windows 2000をインストールするパーティションを設定する画面が表示されます。このとき表示される先頭にある16MBの領域は、Express5800特有の構成情報や専用のユーティリティを保存するために使用されるパーティションです。この領域の削除は推奨しませんが、16MBの領域を確保させたくない場合は、「D = パーティションの削除」で削除してください。

- 4 インストール終了後、8ページを参照してシステムをアップデートしてから、9ページ以降の説明を参照してドライバのインストールと詳細設定をする。

## アップグレードインストール

Windows NT 4.0がインストールされている装置をWindows 2000にアップグレードする手順を次に示します。

- 1 システムの電源をONにし、Windows NT4.0を起動する。



重要

あらかじめソフトウェア電源モジュールをアンインストールする必要があります。手順は3ページの「ソフトウェア電源のアンインストールについて」を参照してください。

- 2 管理者権限を持ったユーザでログオンする。
- 3 Windows 2000 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

以下のメッセージが表示されます。

このCD-ROMには現在使用しているWindowsより新しいバージョンが含まれています。  
Windows 2000にアップグレードしますか？

- 4 [はい]をクリックする。  
アップグレードか新規インストールかを選択するダイアログボックスが表示されます。
- 5 「Windows 2000 にアップグレードする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックする。  
「Windows 2000 ライセンス契約」が表示されます。
- 6 内容に同意する場合は、「同意します」をチェックし[次へ]をクリックする。

ファイルのコピー後、自動的に再起動します。



ヒント

Windows 2000 CD-ROMはCD-ROMドライブに挿入したままでかまいません。

ディスプレイ装置の画面にPOST( Power On Self-Test )の実行内容が表示されます(「NEC」ロゴが表示された場合は<Esc>キーを押してください)。しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

- 7 <F2>キーを押し、BIOS SETUPユーティリティを起動する。
- 8 「Advanced」の「Installed O/S」を「PnP O/S」に設定する。
- 9 「Exit」の「Save Changes & Exit」、あるいは「Exit Saving Changes」を選択した後、[ Yes ]を選択し、システムを再起動させる。

再起動後、Windows 2000のインストールが開始されます。

- 10 Windows 2000インストール完了後、「システム管理者」の権限を持ったユーザー(例: administrator)でログオンする。

- 11 システムのアップデートをする。

以下どちらかを実行してください。

- マスターコントロールメニューの「システムのアップデート」を選択(次ページ)
- <CD-ROMドライブのドライブレター>:\\$winnt\\$bin\\$oschk\$update.exe

- 12 9ページ以降の説明を参照してドライバのインストールと詳細設定をする。

# システムのアップデート

システムを再起動後、必ず以下のようにシステムをアップデートしてください。



重要

- CPUを増設した場合は再起動する前に必ずシステムのアップデートをしてください。(システム構成を変更した後、再起動を促すダイアログボックスが表示される場合は[いいえ]ボタンをクリックし、システムをアップデートしてください。)
- 修復プロセスを使用してシステムを修復した場合も必ずシステムをアップデートしてください。

- 1 管理者権限のあるアカウント(administrator等)で、システムにログオンする。
- 2 CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが表示されます。

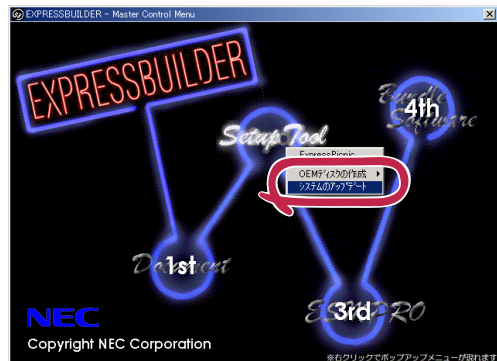
- 3 [2nd] [Setup Tool]を左クリックし、[システムのアップデート]をクリックする。



ヒント

右クリックで現れるポップアップメニューでも同様の操作ができます。

画面のメッセージに従って作業を進めると、[コンピュータの再起動]ダイアログボックスが表示されます。



- 4 [コンピュータの再起動]をクリックしてシステムを再起動させる。
- 5 システムのシャットダウン開始後、ただちにCD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブから取り出す。

# ドライバのインストールと詳細設定

各種のドライバのインストールとセットアップを行います。

ここで記載されていないドライバのインストールやセットアップについてはドライバに添付の説明書を参照してください。

## ネットワークドライバ

標準装備のネットワークドライバは自動的にインストールされますが、転送速度とDuplexモードの設定が必要です。



ヒント

サービスの追加にて、[ネットワークモニタ]を追加することをお勧めします。[ネットワークモニタ]は、[ネットワークモニタ]をインストールしたコンピュータが送受信するフレーム(またはパケット)を監視することができます。ネットワーク障害の解析などに有効なツールです。インストールの手順は、ユーザーズガイドを参照してください。

- 1 スタートメニューから[設定]をポイントし[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。

[ネットワークとダイヤルアップ接続]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [ローカル エリア接続]アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[プロパティ]をクリックする。

[ローカル エリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

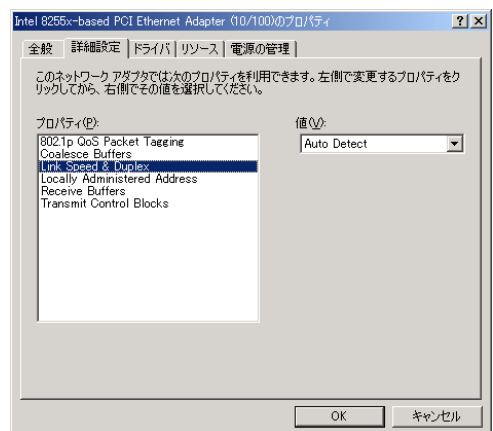
- 3 [構成]ボタンをクリックする。

ネットワーク アダプタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

- 4 [詳細設定]タブをクリックし、[Link Speed & Duplex]をHUBの設定値と同じ値に設定する。

- 5 ネットワーク アダプタのプロパティダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックする。

- 6 [ローカル エリア接続のプロパティ]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックする。



また、必要に応じてプロトコルやサービスの追加 / 削除をしてください。[ネットワークとダイヤルアップ接続]からローカルエリア接続のプロパティダイアログボックスを表示させて行います。

## ディスクアレイドライバ

ディスクアレイコントローラ(N8503-43/N8503-44/N8503-49)を使用されている場合、以下の手順でドライバをアップデートしてください。

また、修復プロセスを使用してシステムを修復した場合もドライバをアップデートしてください。

- 1 EXPRESSBUILDER(CD-ROM)をCD-ROMドライブにセットする。
- 2 [スタートメニュー]から[設定]を選択し、[コントロールパネル]を起動する。
- 3 [管理ツール]内の[コンピュータの管理]を起動し[デバイスマネージャ]をクリックする。
- 4 [SCSIとRAIDコントローラ]をクリックし、以下のコントローラのいずれかのプロパティを開く。
  - [Mylex DAC960 Series Disk Array Controller]
  - [Mylex DAC1164P Disk Array Controller]
  - [ Mylex DAC960PG/PJ/PR/PT/PTL1/PRL Series Disk ArrayController]
- 5 [ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックし、「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択する。
- 6 [ディスク使用]ボタンをクリックする。
- 7 「D:¥WINNT¥W2K¥DAC960¥」と入力し、[OK]ボタンをクリックする。  
  
コントローラの一覧が表示されます。
- 8 搭載しているディスクアレイコントローラのモデルに併せて適切なコントローラを選択する。
  - N8503-44:「 Mylex DAC960PG/PJ/PR/PT/PRL Series Disk ArrayController」
  - N8503-43/49:「 Mylex DAC1164P Disk Array Controller」
- 9 デバイスドライバのインストール開始画面で「次へ」をクリックする。  
  
「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示され、インストールを続行しますか?と確認されます。
- 10 [はい]ボタンをクリックする。  
  
ここでコピーが開始され、終了後、「完了」を選択することによりUpdateは終了します。再起動を要求される場合と、されない場合がありますが、必ず再起動してください。再起動後、最新のドライバが有効になります。2度再起動を要求されることがありますが、2度目は再起動不要です。

## 3モードフロッピードライバ

Windows NT 4.0では3モードのフロッピードライバ( FAT 1.44MB、1.2MB、720KB、640KB フォーマットのフロッピーディスクが使用可能 )が標準でインストールされますが、Windows 2000では、2モードのフロッピードライバ( FAT 1.44MBと720KBフォーマットのフロッピーディスクが使用可能 )が標準でインストールされます。

3モードのフロッピードライバを使用したい場合は、Windows 2000のインストールが終了した後にドライバの更新を行ってください。

また、修復プロセスを使用してシステムを修復した場合もドライバをアップデートしてください。

- 1 スタートメニューから[プログラム] [管理ツール]の順でポイントし、[コンピュータの管理]をクリックする。

[コンピュータの管理]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [デバイスマネージャ]をクリックする。

デバイスの一覧が表示されます。

- 3 EXPRESSBUILDER CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

- 4 デバイスの一覧より[フロッピーディスクコントローラ] [標準フロッピーディスクコントローラ]の順でダブルクリックする。

[標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ]のダイアログボックスが表示されます。

- 5 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]をクリックする。

[デバイスドライバのアップグレードウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

- 6 [デバイスドライバのアップグレードウィザード]で[次へ]をクリックし、「ハードウェアデバイスドライバインストール」画面を表示する。

- 7 [ハードウェアデバイスドライバインストール]画面で[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]のボタンをクリックし、[次へ]をクリックする。

[デバイスドライバの選択]画面を表示します。

- 8 [デバイスドライバの選択]画面で、[ディスク使用]をクリックする。

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。

- 9 「CD-ROMのドライブ:¥WINNT¥W2K¥FLOPPY¥NS」と入力し[OK]をクリックする。

モデルに「NEC 3mode floppy disk controller」が表示されます。

- 10 [次へ] をクリックする。
- [デバイスドライバのインストール開始] 画面が表示されます。
- 11 [次へ] をクリックする。
- ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピー中に、[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示されます。
- 12 [はい] をクリックする。
- コピー処理が終了し、[デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了] 画面が表示されます。
- 13 [完了] をクリックする。
- [NEC 3mode floppy disk controllerのプロパティ] 画面が表示されます。
- 14 [閉じる] をクリックする。
- [システム設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。
- 15 [いいえ] をクリックする。
- 16 デバイスの一覧より[フロッピーディスクドライブ] [フロッピーディスクドライブ]の順でダブルクリックする。
- [フロッピーディスクドライブのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 17 [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] をクリックする。
- [デバイスドライバのアップグレードウィザード] ダイアログボックスが表示されます。
- 18 以降、[標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ]と同様の操作で実行し、[NEC 3mode floppy disk driveのプロパティ] 画面が表示されるまで作業を続ける。
- 途中で表示されるモデルは「NEC 3mode floppy disk drive」と表示されます。
- 19 [NEC 3mode floppy disk driveのプロパティ] 画面で[閉じる] をクリックする。
- [システム設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。
- 20 [はい] をクリックしシステムの再起動を実行する。
- 再起動後、3モードフロッピードライブが有効となります。



## グラフィックアクセラレータドライバ

以下の手順に従って標準で装備されているグラフィックスアクセラレータのドライバをインストールしてください。オプションのグラフィックスアクセラレータボードを搭載して使われる場合は、そのボードに添付の説明書に従ってドライバをインストールしてください。

- 1 スタートメニューの[プログラム]から[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。
- 2 [画面]アイコンをダブルクリックする。
- 3 [設定]タブをクリックする。
- 4 [詳細]ボタンをクリックする。
- 5 [アダプタ]タブをクリックする。
- 6 [プロパティ]ボタンをクリックする。
- 7 [ドライバ]タブをクリックする。
- 8 [ドライバの更新]ボタンをクリックする。  
デバイスドライバのアップグレードウィザードが起動されます。
- 9 [次へ]ボタンをクリックする。
- 10 検索方法の指定で「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する。」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックする。
- 11 デバイスドライバの選択で、「ディスク使用」ボタンをクリックする。
- 12 [ 製造元のファイルのコピー元 ] に「 C D - R O M のドライブ : ¥WINNT¥VIDEO¥RAGE¥ATIDrive」と入力し、[OK]ボタンをクリックする。  
[ディスプレイ]のリストに次のドライバ名が表示/選択されます。  
「ATI Technologies Inc. 3D CHARGER AGP」  
「ATI Technologies Inc. Rage IIC AGP」  
「ATI Technologies Inc. Rage IIC PCI」
- 13 「ATI Technologies Inc. Rage IIC PCI」を選択して[次へ]ボタンをクリックする。
- 14 [ドライバの更新警告]メッセージが表示された場合は[はい]ボタンをクリックする。

- 15 表示されるメッセージに従って、ドライバのインストールを続ける。  
「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」が表示されます。
- 16 [完了]ボタンをクリックする。
- 17 「ATI Technologies Inc. Rage IIC PCIのプロパティ」で[閉じる]ボタンをクリックする。
- 18 メッセージに従ってOSを再起動する。

## 障害処理のためのセットアップ

障害が起きたときに障害からより早く、確実に復旧できるようセットアップをしてください。詳細な手順についてはユーザーズガイドをご覧ください。